

ふれまち

第136号

平成24年
1月10日発行



ひろがるステンシルの輪!人と人との和!!



ステンシル講習会
の皆さん

東日本大震災を忘れない!!

9カ月目にあたる12月11日(日)に美星「星の郷青空市」にて街頭募金活動を市内高校生と一緒に行いました。12月28日現在5,072,916円の義援金が集まりました。岡山県共同募金会から日本赤十字社を通して被災者にお届けしています。ご協力ありがとうございます。



発行者

〒715-0019 井原市井原町1110番地
社会福祉法人 井原市社会福祉協議会
電話(0866)②1484 FAX(0866)②1496
芳井支所 電話 ⑦1366 FAX ⑦1363
美星支所 電話 ⑥4141 FAX ⑥4170

この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。

ホームページアドレス: <http://www.fukushiokayama.or.jp/Ibara/Ibara.htm> メールアドレス: i-syaky@ibara.ne.jp

いきサロンから を元気にしよう!

活動です。ふれあい・いきいきサロンづくりは地域
発に行われています。と〜とバッグづくり、社協バ
ベリして、笑顔で過ごせば高齢化は進んでも地域が

芳井地区社会福祉協議会 篠原たのしみ会



干支の色紙づくり



平成6年から始まったサロンです。
17年間毎月1回開催しています。
少人数ですが、和気あいあいと仲良く
楽しく、自分たちなりにできることを
計画しています。

今年もみんな元気に毎月集まれま
すように・・・

**ふれあい・いきいきサロンの役割がだんだん大きく、重要となっ
てきています。楽しく!地域の活性化・自立を目指していきましょう!!**

**何をしようかと思ったら
社協の貸出用品があるよ!**

DVDプロジェクター・スクリーン・カ
ラオケ・的当てゲーム・ジャンボトランプ・
魚釣りゲーム・輪投げ・ワーリングゲーム・
絵あわせゲームなど他にもあります。



ハンドベル



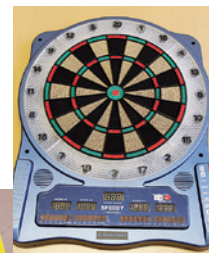
DVD



回想かるた・四字熟語あわせ



点鳥ルーレット



ダーツ

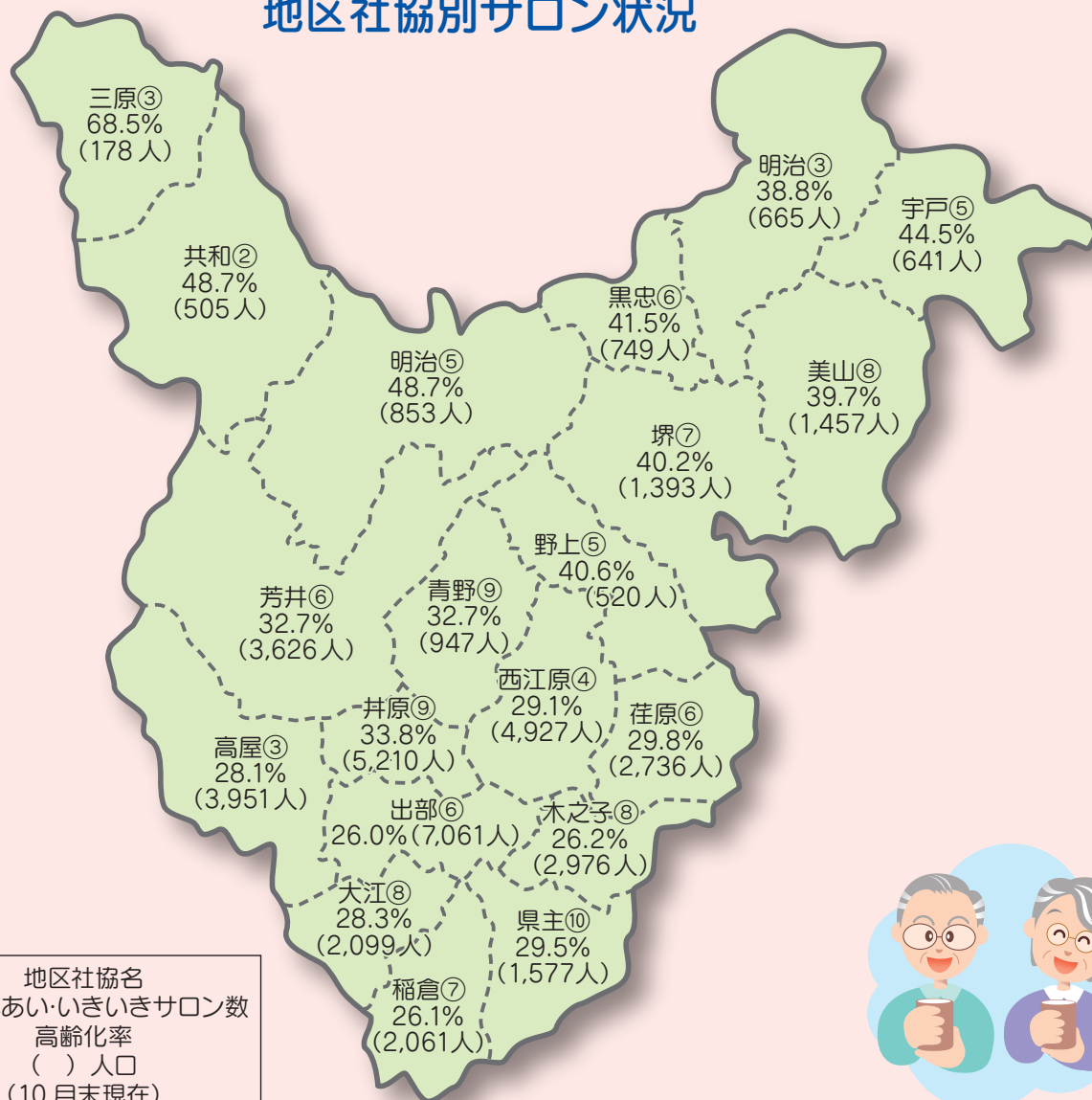


イベント用ジャンパー

ふれあい・いき 笑顔と笑顔で地域

ふれあい・いきいきサロンは住民同士が気軽に参加できる、ふれあい・ささえあいづくりです。それぞれの地域の特色を生かして、ふれあい・いきいきサロン活動が活スおぎゃー号(27人乗り)・はっぴ〜号(10人乗り)での外出支援等、楽しく、おしゃ元気になります。

地区社協別サロン状況



ふれあい・いきいきサロン 120カ所

井原市の高齢化率 31.3%(平成23年10月末現在)

トントン!と〜とバッグ 1,000個超!



井原市共同募金委員会では、「トントン!と〜とバッグプロジェクト」を展開しています。平成23年11月末までで**1,000個**を超えるご協力をいただいております。ありがとうございます。

ふれあい・いきいきサロンでやってみようかな?

ステンシル講習会に参加してみようかな?という方はまずは社協へ!!



荏原地区社会福祉協議会 ぼちぼちサロンのみなさん

《問い合わせ先》 井原市社会福祉協議会 本 所 ☎ 62-1484
芳井支所 ☎ 72-1366
美星支所 ☎ 87-4141

地域力パワーアップ講座 ～地域でささえよう～

認知症サポーター養成講座実施中!!

認知症サポーターはなにか特別なことをやる人ではなく、安心して暮らせるまちづくりを市民の手で展開する認知症を理解した認知症の人への「応援者」です。みんなでサポーターになろう!

《受講状況》

10月末現在》

サポーター 1,003名

キッズ 397名

自分たちで出来ることを考えて何かやってみたいな!

《問い合わせ》

井原市役所 介護保険課 地域包括支援センター

井原市社会福祉協議会 本 所 ☎ 62-19552
62-1484



井原高校南校地家政科
2年福祉類型受講



まちづくり講演会

12月3日(土) NPO法人市民交流ネットワークと共同で講演会を開催しました。

約70名の参加をいただき「高齢者とまちづくり」と題して岡山県立大学教授 増田雅暢氏より、事例紹介をふまえて住民や事業者・自治会、専門家等が市町村独自の取り組みの工夫が必要であるというお話でした。



平成23年度 井原市社会福祉大会

平成23年11月8日（火）にアクティブライフ井原において、平成23年度井原市社会福祉大会が開催されました。約300人の参加者が見守る中、多年にわたり福祉の向上に貢献された方々や団体に、表彰状と記念品が贈られました。

続いて、市民コンサルタント 村上徹也氏による「大震災が問いかけるふくし力」～被災地支援と私たちの地域～と題して記念講演が行われました。普段からいろいろな事態を考



えておく必要がある、身近な小地域でのつながりがとても大事であるということをお話されました。

受賞された方々

◆福祉功労表彰

川 伊 佐 川
上 織 藤 相
嗣 温 サチ工 肇
夫 子

〈敬称略〉

◆善意賞

ももの会
ボランティアグループ

あわせて井原市共同募金配分交付式も行われました。

井原市社会福祉協議会職員募集

○ 採用予定職員(平成24年4月1日付)

職 名	必要資格	採用人数
訪問介護員 (正規職員)	ヘルパー2級以上	1名
介護支援専門員 (正規職員)	介護支援専門員	1名
児童デイサービス 指導員(正規職員)	言語聴覚士または 作業療法士	1名
看護師(正規職員)	看護師または 准看護師	1名

○ 採用試験申込期限 平成24年1月31日(火)

○ 採用試験の日程・会場

- ・試験日 平成24年2月14日(火)
- ・試験内容 適性検査、作文試験、面接試験
- ・試験会場 井原市総合福祉センター

○ 申込方法

受験申込書に必要事項を記入し提出してください。
(受験申込書は井原市社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます)

《問い合わせ》

井原市社会福祉協議会 総務係(担当 佐藤善)

電話 62-1484

歴史から学ぶボランティアセミナー

歴史からみえる日本人のボランティア活動への

「思い」や「パワー」について学んでみませんか?

日 時 平成24年2月28日(火)

13時30分～15時30分

場 所 浅口市健康福祉センター シリウス
福山平成大学 福祉健康学部福祉学科

講師 准教授 大深 俊明氏

講演 演題「歴史から学ぶボランティアと日本人」

定員 130名(井原市 約30名) 《無料 送迎有り》

《問い合わせ・申し込み先》

井原市社会福祉協議会 ☎ 62-1484

ふれあい福祉相談センター

秘密厳守／相談無料

お問い合わせ、予約は
井原市社会福祉協議会 ☎62-1484

相談内容	日 時	内 容
ふれあい福祉相談	月～金曜日 8:30～17:00	日常生活上の心配ごと・悩みごとなどあらゆる相談
法律相談	2/7(火) 10:00～15:00 3/6(火) 13:00～16:00	法律上の難しい問題の相談(財産・相続・金銭貸借・境界等)1件30分以内事前に予約必要 予約先:井原市社会福祉協議会
療育相談	月～金曜日 8:30～17:00	就学前の子どもたちに関する心配や悩みごとの相談
介護相談		家庭介護や各種サービスに関する相談
結婚相談	2/10(金)・3/9(金) 13:30～15:30	結婚に関する相談

お問い合わせ先
協働推進課 市民活動係 ☎62-9508

行政相談	1/26(木)・2/9(木)・2/23(木) 3/8(木) 10:00～12:00 【井原市総合福祉センター】	行政全般に関わる相談 (道路・住宅・公害)
	1/12(木)・2/16(木)・3/15(木) 9:00～11:00 【芳井老人福祉センター】	
	1/10(火)・2/14(火)・3/13(火) 10:00～12:00 【美星農村環境改善センター】	

ありがとうございました

井原市社会福祉協議会

平成23年10月16日～平成23年12月15日(敬称略)

◆香典返し・満中陰志

亡父 笹賀町 三松 功	亡母 井原町 柳本 博
亡子 息木之子町 大山 誠二	亡夫 木之子町 井上 節子
亡妻 井原町 奥田 喜吉	亡妻 神代町 山内 亘
亡母 神代町 笠原 勇	亡夫 青野町 三宅 慶子
亡父 西江原町 渡邊 繁樹	亡母 門田町 岡田 則夫
亡父 西江原町 片山 武敏	亡妻 西江原町 谷本 治重
亡父 西江原町 青木 秀哲	亡母 井原町 大山 邦雄
亡妻 大江町 寺岡 久美男	亡義父母
亡夫 上出部町 辺本 美智子	倉敷市中島 森定 幹夫
	亡母 井原町 猪原 貫誠

亡母 西方町 北田 純一	亡父 笹賀町 松室 節子
亡母 神代町 原田 健市	亡父 井原町 山本 俊行
亡父 井原町 川井 眞治	亡父 神代町 佐藤 茸子
亡夫 井原町 西田 定子	亡夫 井原町 藤井 敏弘
亡父 西江原町 藤井 敏弘	亡父 福山市神辺町 滝本 賢治
亡母 芳井町東三原 小倉 武昭	亡父 芳井町梶江 三信 正巳
亡義祖母	芳井町吉井 大田 黒正秀

亡母 美星町大倉 東田 康夫	亡母 美星町黒忠 加賀 昭
亡母 美星町黒忠 加賀 徹	亡祖母 岡山市中区番 加賀 徹
亡父 美星町三山 長谷川 巖	亡父 美星町黒忠 森下 賢治
亡父 美星町星田 三宅 トヨコ	亡夫 美星町星田 和藤 豊子
亡夫 美星町黒忠 三好 勢津子	亡夫 美星町三山 山本 明
亡母 美星町三山 武井 輝信	亡父 美星町宇戸 川上 隆志
美星町宇戸 吉田 稔	美星町黒忠 川上 和一
美星町西水砂 川上 滋衛	美星町西水砂 藤森 薫

◆見舞い返しにかえて

◆福祉器貸借のお礼として

芳井町梶江 山本 静子	美星町三山 長谷川 巖
美星町宇戸 坂川 徹也	美星町三山 山本 明

◆一般寄付

大江町 新川 織物(有)

◆物品寄付

兵庫県加古川市野口町	渡邊 久子
芳井町梶江	山本 静子
東京都足立区皿沼	藤枝フサ子

ほっとコラム

毎年、元旦に届く年賀状はお正月の楽しみのひとつである。退職後は、親しい人たちだけのやりとりで、枚数も限られてきた。

そのほとんどが学生時代からの友人、職場で知り合った同僚や先輩からの賀状である。新年の挨拶の後一言そえられた近況を読むのはとても楽しい。なかでも、若い頃、仕事面でお世話になった先輩女性からの賀状にはいつも元気をいただいている。ぴんと背すじを伸ばした姿勢は変わらず、80代になられた今も、体調に合わせて音楽や手芸などの趣味を楽しんでおられる。

一年に一度だけの便りだけど、新年を迎える度、よし、先輩の背中を見ながら今年もがんばろうと思う。

